

なぜブランド戦略に
デザインの力が
必要なのか

2012
9/29(土)
13:30~16:30
開場13:00

参加費
無料

場所 大阪市立中央図書館
5階大会議室
地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線
西長堀駅直結

主催  **osaka design center**
財団法人大阪デザインセンター

共催 大阪市立中央図書館

後援 近畿経済産業局・大阪府・大阪市・
大阪商工会議所・USD・大阪デザイン団体連合



とかく、デザインは出来あがった姿・形、意匠を意味すると考えられがちですが、使う人のニーズ、目的に相応しいものに具現化する過程そのものがデザインです。問題点の抽出力、解決策の発想力、具現化力、全体を通しての問題の解決力、ソリューションがデザイン力です。だからこそ、デザインは企業のブランド戦略、企業イメージアップの重要なツールでもあります。優れたデザイン力は、企業の重要な経営資源となるのです。

「クール・ジャパン」を推進してきた経済産業省では、デザインを含むクリエイティブ産業を日本の戦略産業分野と位置付けています。また、我が国の歴史・文化の中で培われた美意識や創意工夫に基づく「感性価値」を日本独自の「モノづくり」に活かそうとしています。

今回は、そのクール・ジャパン戦略とデザイン政策を、経済産業省の政策担当の方にお伺いします。そして、パネラーとして、大手家電メーカーのデザイン責任者の方に、具体的な開発事例を基に、そのデザインコンセプトやその反響などを、日常生活用品の開発に携わっておられるデザイナーの方には、商品に潜む「モノ」と「コト」、デザインのソフト化の流れについて、お話をいただきます。そして以上のお話を、(株)大阪デザインセンターの新理事長 越田英喜がコーディネートいたします。

これらを通して、デザインの持つ「力」、デザインそのものに対して「対価」を支払うべき「価値」があることをご理解いただきたいと思います。

第1部 基調講演

クール・ジャパン戦略と
デザイン政策

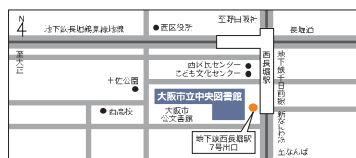
経済産業省商務情報政策局
クリエイティブ産業課
デザイン政策室 室長補佐

講師：外山 雅暁 氏



第2部 ハネルディスカッション

- パネリスト
林 良三 氏 シャープ(株) オンラインワン商品・デザイン本部 副部長/総合デザインセンター所長
塚本カナエ 氏 商品開発デザイナー・コンサルタント/Kanae Design Labo 代表
外山 雅暁 氏 経済産業省デザイン政策室 室長補佐
- コーディネーター
越田 英喜 氏 (株)大阪デザインセンター 理事長



参加費 無料
定員 280名(先着順)

シンポジウム **デザインの力** ~ブランド戦略~

第1部 基調講演

クール・ジャパン戦略とデザイン政策

講師：外山 雅暁 氏

- テーマ・キーワード
・クール・ジャパン戦略について
・デザイン政策の歴史、将来の展望について

「クール・ジャパン」を推進してきた経済産業省では、クリエイティブ産業を日本の戦略産業分野と位置付け、我が国の歴史・文化の中で培われた美意識や創意工夫に基づく「感性価値」を日本独自の「モノづくり」に活かそうとしています。



第1部 講師/ 第2部パネリスト

外山 雅暁 氏

経済産業省商務情報政策局 クリエイティブ産業課
デザイン政策室 室長補佐

1998年金沢美術工芸大学美術工芸学部卒。1999年IMEインターメディアム
ム研究所修了。1999年3月から8月までValand School of Fine Arts
(Sweden)に交換留学。2000年金沢美術工芸大学美術工芸科(大
学院)修了。2001年特許庁入庁。意匠審査官・総務部副課長、JFIF
(UK)留学等を経て、2012年4月より経済産業省クリエイティブ産業課
デザイン政策室長補佐。



第2部パネリスト

塚本 カナエ 氏

商品開発デザイナー・コンサルタント
Kanae Design Labo 代表

(株)三菱電機などを経て、英RCA修士卒業。
1999年Kanae Design Labo設立。「テーブルの上からの周辺へ」という
視点で食器、家電製品、家具、照明器具、化粧品パッケージ、日用品などの
市場調査、コンセプト・商品開発～販売戦略までデザイン。英国国立芸術
振興協会コンペ大賞、Gマーク賞、レッドドット賞。2009年度英国RCA
客員講師。2008～2009年Gマーク客員。

第2部 ハネルディスカッション

- パネリスト
林 良三 氏 シャープ(株) オンラインワン商品・デザイン本部 副部長/総合デザインセンター所長
塚本カナエ 氏 商品開発デザイナー・コンサルタント/Kanae Design Labo 代表
外山 雅暁 氏 経済産業省デザイン政策室 室長補佐
- コーディネーター
越田 英喜 氏 (株)大阪デザインセンター/ (株)コシダアート代表/ 大阪総合デザイン専門学校長

■テーマ・キーワード

- ・デザインにどんな力があるか
- ・商品が売れる要素にデザインがどの程度かわっているか
- ・諸外国と比べての、日本の製品の優位性、劣位性
- ・製品をデザインするだけでなく、ブランド戦略を確立し、
企業自身もデザインする(デザイン・マネジメント)
- ・日本企業の生き残り戦略



第2部パネリスト

林 良三 氏

シャープ(株) オンラインワン商品・デザイン本部 副部長
総合デザインセンター所長

1974年シャープ株式会社入社以降、16年間担当デザイナーとしてデザ
イン開発を経験。主には3つの社長直轄プロジェクトに参画し、AV機器、
通信機器、複写機器、などの独自商品デザインを創出。その後、37歳以
降、課長職、部長職、経営職としてデザインマネジメントを行い、現在に至
る。数々のシャープデザイン戦略、オンラインワンデザイン創出を手掛けた。



第2部コーディネーター

越田 英喜 氏

(株)大阪デザインセンター 理事長

大谷生まれ。1965年、京都市立南高等学校(現：京都市立南高等学校)芸術科
ビジュアルデザイン専攻卒業。
1986年、コシダアート創設(1973年創設)。大手企業、中小企業等のデザ
インコンサルティング、顧問をはじめ、CI計画、BI計画の承年の実績。行政の
顧問、アートディレクター、審査委員などの公職多数。

お申込み方法 当センターホームページからお申し込みいただくか、申込書にご記入の上、FAXでお申し込みください。

シンポジウム 「デザインの力~ブランド戦略~」 参加申込書

フリガナ
お名前 会社名(所属部署名)
ご住所 〒 職業 フリーデザイナー デザイン事務所 企業内デザイナー
 一般企業 官公庁 弁護士・弁理士 経営者
 その他()
TEL FAX
E-Mail

お問合わせ・お申込み先  **osaka design center** FAX 06-6615-5573
財団法人大阪デザインセンター http://www.osakadc.jp

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATビル ITM棟10階 A-1 (大阪デザイン振興プラザ内)
TEL 06-6615-5571 e-mail odc@osakadc.jp

日本が生んだ世界のスポーツ  **KEIRIN** このシンポジウムは、競輪の補助金を
受けて実施するものです
http://www.ringring-keirin.jp